

職務経歴書

2022年11月1日 古山 蒼二郎

経歴

- 2020年12月1日～現在 株式会社Vitalize

社内での受託開発、及びSESとして3社へ派遣され、開発に従事しました

経歴詳細

人材紹介サービスの開発 (2020年12月～2021年4月)

役割

バックエンドDevとして参画。参画時には既にフレームワークとしてRuby on Railsが選定されていたので、技術選定には関わっておらず、主にサーバサイドロジックの実装を担当しました。

実績

Active Jobによるサービス登録者への一括メール送信のbatch処理を担当しました。

メール配信サービスとしては恐らく下記の理由によりAWS SESが既に選定、運用されていました。

- サーバがEC2上に構築されていたため、毎月62000件の無料メールを送信することが可能。
- 社内で既に他のプロジェクトで採用実績があり、ハードバウンズレートの管理のためのRailsモジュールが利用可能。

開発の過程で送信したメールの不達率が高いことが判明し、SESの設定の見直しを行いDKIMを導入し、不達率の改善に寄与しました。

暗号通貨取引所/販売所の新規開発 (2021年5月～2021年12月)

役割

フロントエンドDevとして参画。暗号通貨取引所の取引画面をNext.js、管理画面をVue.jsで構築しました。10月に無事リリースし、その後は保守、改修に従事。

新規マーケティングWebアプリケーション開発 (2021年10月～2022年1月)

役割

新規開発のためフロントエンド、バックエンドどちらも担当するDevとして参画。

フロントエンドはVue.js、バックエンドはRuby On Railsで構築しました。

キャッシュレス決済サービス開発 (2021年2月～2022年11月)

役割

バックエンドDevとして参画。

- 決済中継マイクロサービス

- 新規顧客登録マイクロサービス
- 顧客審査マイクロサービス

の開発に携わりました。

参画当初は決済中継部分を担当し、gRPC、golang、kafkaを用いた決済トランザクション処理マイクロサービスを開発していました。

その後、新規顧客登録・審査マイクロサービスの開発チームに遅れが生じ、ヘルプチームが結成されることになったためリードエンジニアとして参画しました。

フロントエンドとはGraphQL、各マイクロサービスとはgRPCで通信するKoaを採用したBFFと、golangによる顧客情報管理マイクロサービスの開発を行いました。

実績

1. 設計、コードレビューを通した品質の向上。DDDに則ったコーディングスタイルの周知

メンバーと設計について以下のようなことを議論しました。

- どこまでを1集約として管理するのか。その場合のメリットデメリットは何か
- validationで不正requestとして弾くのか。validationの責務ではないdomain固有のビジネスロジックなのでdomain生成時のconstructorでerrorとするのか。
- MySQL(5.7, InnoDB, REPEATABLE READ)上でこの処理はanomalyを起こさないのか。

2. wireの導入によるボイラープレートコードの削減

usecaseとrepository間のDependency Injectionコードを手書きで書いていましたが、開発規模が大きくなり手作業に限界を感じていました。wireを導入し、ボイラープレートの削減に成功しました。

3. フロントエンド、バックエンド間の取り持ち

フロント担当チーム、バック担当チームの仲介に力をいれました。具体的には、フロント/バックエンドの実装状況がどうなっているのかわからないので開発が進められない。という状況が発生した際に、実際に該当箇所を見つけだしこうなっているからこの部分の開発は進められる。等の調整を行いました。

自己PR

好奇心旺盛で、気になることはまずは挑戦してみる性格です。最近もセキュリティ関係に興味を持ちホワイトハッカーの資格をとりました。

また、やると決めたら最後までやり通します。上に記載した通り直近の開発ではリーダーポジションで開発を行いました。

開始時は本当に自分がうまくやれるのか不安で仕方がありませんでしたが、ここで挑戦せずに心のどこかに後悔を残すより全力でぶつかってみよう。と思考を切り替えチャレンジしました。

言葉に起こすとささやかですが、これは私のキャリア上で一番大きな挑戦的な決断でありチームメンバーと共に実際にやり遂げられてとても自分にとっては良い経験になりました。